

仙台市議会だより

sendai city assembly

第190号

令和2年

第3回定例会号

<http://www.gikai.city.sendai.jp/>

2020年(令和2年)12月発行

発行 仙台市議会

編集 仙台市議会広報委員会

TEL (214) 6169 青葉区国分町3-7-1

年4回発行

地下鉄東西線開業5周年

12月6日に地下鉄東西線は5周年を迎えます。

昨年度は、1日平均7万9600人の皆様にご利用いただきました。

交通局では、市民の皆様安心してご利用いただけるよう、新型コロナウイルス感染症予防対策に取り組んでいます。お出かけの際は、ぜひ地下鉄をご利用ください。

(鉄道むすめは、全国各地の実在する鉄道事業者の制服を着た、さまざまな職種のキャラクターコンテンツです。青葉あさひは仙台市交通局運転士です。)

鉄道むすめ

青葉 あさひ

AOBA ASAHI

仙台市交通局運転士

© TOMYTEC/イラスト:伊能津



車両前面の三日月部分が金色の車両。東西線車両15編成のうち1編成のみの珍しい車両です。ご乗車の際は、ぜひ探してみてください。(荒井車両基地)

第3回定例会において36件の議案等を可決

10/7	9/18 ~ 10/5	9/18	9/17	9/14 ~ 16	9/10 ~ 11	9/4
本会議	特別委員会等審査会	本会議	常任委員会	本会議	本会議	本会議
・決算等審査特別委員会委員長報告 ・常任委員会委員長報告 ・議案の討論・採決 ・各調査特別委員の選任 ・意見書の採決 ほか	・決算等議案の審査	・議案の採決 ほか	・決算等議案以外の審査	・一般質問 23人	・代表質疑 6人	・人事案件 ・調査特別委員会委員長報告 ・各常任委員・議会運営委員の選任 ・議案の提案理由説明

令和2年第3回定例会 会期日程

市民のみなさまへ

第3回定例会では、新型コロナウイルス対策の追加・拡充を図る補正予算案や条例案など36件の議案等の審議と、令和元年度決算の審査を行いました。

代表質疑では、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行に備えた医療・検査体制の充実、地域経済対策、今後の財政運営、仙台市基本計画の中間案、ガス事業民営化、音楽ホールなど、市政の重要課題について議論がなされました。一般質問では、コロナ禍での文化芸術関係者や生活困窮者等への支援、避難所運営の在り方、感染予防の観点からの少人数学級拡充、ICT教育の推進、特別教室等へのエアコン設置、行政のデジタル化、震災から10年を迎える中での東部沿岸部の魅力発信など、幅広い観点から質問が行われました。

また、令和元年度決算を審査する特別委員会を設置し、実施された各事業の検証や課題への対応などを求めた上で、最終日には、新型コロナウイルスの影響による地方財政の悪化に対して地方税財源の確保等を求める意見書および防災・減災、国土強靱化対策の継続等を求める意見書を、全会一致で可決し、国に提出しました。コロナ禍が猛威を振るう中、本市議会は、実情に即した施策的確に実践され、市民生活や地域経済への影響の最小化と早期回復が図られるよう、議決機関として今後も力を尽くしてまいります。

目次	市民のみなさまへ 定例会会期日程 第2回臨時会の概要	主な議案の紹介 会派別議案等賛否一覧表	代表質疑	一般質問 調査特別委員会委員長報告	用語解説	決算等審査特別委員会	次回定例会のお知らせ	新委員の紹介 常任委員会審議の概要 意見書
1面	2面	2・3面	4・5面	5面	6・7面	7面	8面	

第2回臨時会の概要

令和2年第2回臨時会が、7月30日から8月3日までの5日間にわたり開催されました。

7月30日

提案された令和2年度一般会計補正予算案を含む4議案について質疑が行われ、その後、所管の常任委員会に付託されました。

7月31日

各常任委員会で審査が行われ、付託された4議案について、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

8月3日

各常任委員会の委員長報告の後、採決が行われ、全ての議案について全会一致で可決されました。

○令和2年度一般会計補正予

算(主な補正項目)
・児童福祉施設等に勤務し、利用者との接触を伴うサービスに携わる職員に対して慰労金を支給するための児童福祉施設等職員慰労金支給事業費6億9457万円を追加するもの
・特別定額給付金の支給基準日である4月27日の翌日以降に生まれた新生児の属する世帯を対象に、給付金を支給するための新生児臨時特別給付金事業費4億1302万円を追加するもの
・市内への誘客及び宿泊を促進するキャンペーン等の拡充に要する経費を追加するための観光客誘致宣伝事業費2億3200万円を追加するもの

一般質問

議案以外の市政全般に関する質問を一般質問といいます。23名の議員が行った一般質問のうち、主な質問と答弁の要旨等を掲載しています。

自由民主党

猪又 隆広 議員

問 コロナ禍を踏まえ、災害時に避難所の混雑状況を確保できるシステムを構築すべき。

答 避難所ごとの避難者数等を、本市ホームページ等で確認できる仕組みを検討したい。

○GIGAスクール構想に係る高速ネットワーク早期整備

○新たな情報担当課の設置を

○ICT推進校の市長視察を

○災害の危険がある区域の妊婦、重度障害者のホテル宿泊支援

田村 勝 議員

○福田町駅移設の進捗状況

○岡田・南福島地区に仙石線の駅へ向かう地域交通の導入を

○日本郵便と、白鳥・仙台港周辺に郵便局設置の再交渉を

○七北田川と並行して流れる和田新田堀の整備を

○栄・出花の冠水対策のため中野雨水ポンプ場の増設を

○東部沿岸部に特化した分かりやすく一体的な魅力発信を

○仙台港周辺の大気監視体制

千葉 修平 議員

○太白カントリークラブのメガソーラー計画は、防災、景観・観光、住民と事業者との信頼関係の点から問題がある。本市まちづくりの理念に照らし、規制条例が必要ではないか。

答 条例制定は考えていないが、アセスメントの対象要件の見直しを検討していく。

○仙台市基本計画中間案の評価と抱負は、より野心的な目標を立て、市民の誇りを、

村岡 貴子 議員

○新型コロナウイルス拡大防止策

○歩道橋はバリアフリーでなく、使用頻度が低いものは順次撤去し、経費削減を目指す

○ガス事業民営化は、最低譲渡価格を400億円とした積算根拠を市民に公表すべき

民主フォーラム仙台

山下 純 議員

○子どもたちの快適な学び場と、夏の災害時の避難場所確保の観点から、体育館にエアコンを設置すべき。

答 体育館へのエアコン設置は課題があるが、避難所としての環境整備も必要であり、今後の方向性を検討したい。

○早産や低出生体重児に配慮した母子健康手帳

○本市におけるひきこもり者の実態把握と支援

貞宗 けんじ 議員

○子育て支援制度の利用申請をオンライン化し、妊婦や子どもを連れた方が来庁する負担を解消するべき。

答 窓口での課題を整理し、検討を進める。また、開発中の子育て情報発信のためのアプリを最大限に活用する。

○A-IOCRを活用し、保育所入所選考業務の効率化を

○郡山折立線大野田工区のさらなる安全確保を実施せよ

佐藤 わか子 議員

○新型コロナウイルスの脅威から子どもたちの命を守るため、密を避ける35人以下学級の実現を。

答 中学校は実施済みだが、小学校ではさらに経費を要するため、課題を整理し検討したい。

○不登校対策でフリースクール・ICT学習も出席扱いに

○病児・病後児保育はスマホで空き情報の見える化を

○認知症の早期診断につながる物忘れ検診の導入を

村上 かずひこ 議員

○市役所への爆破予告は非公表だったが、市民に情報公開することを基本とすべき

○市役所新庁舎の消費エネルギーは、全て再生可能エネルギーに設定する努力を

として今このタイミングで、繁華街など地域を限定し、幅広くPCR検査を実施すべき

答 繁華街を対象とした検査実施に向け、課題を早急に整理し、検討を進めていきたい。

○子どもを取り巻く環境の改善のため、本市の各局がワンチームとなり家庭教育支援に取り組むべき

高橋 卓誠 議員

○行政のデジタル化は急務である。DX化も踏まえた本市の現状認識および取り組みを伺う。

答 社会課題の解決手段としてデジタル化が求められている。先進的に導入してきたRPAの前進等に鋭意取り組む、組織の在り方を含む推進体制なども検討していきたい。

○各局のデジタル化の取り組み

○大手門復興は市長の決断次第

松本 由男 議員

○市長は安易な専決処分を避け、議会を招集する努力を。

答 法の趣旨を十分に踏まえた適切な対応に努める。

○新型コロナウイルス等感染症に係る条例づくりの検討

○東日本大震災10周年追悼行事の在り方の早期検討

○コロナ禍での生の思い出となる修学旅行実施への支援

野田 謙 議員

○未詳の飛行物体の危機管理

○国土強靱化地域計画には、感染症拡大や大規模な風水害発生想定が必要。策定中の本市計画の内容について伺う。

答 計画には避難活動における感染症対策、総合的な風水害対策も盛り込んだ。さまざまな災害リスクに備えた強靱なまちづくりを進める。

○新型コロナウイルス感染者発生の際の家庭用マニュアル整備

○新型コロナウイルス対策の発信力強化

一般質問

審議の概要

赤間 次彦 議員

○行政のデジタル化は「選ばれるまち」となるために不可欠である点を踏まえ、本市が目指す大都市の形について伺う。

答 デジタルに的確に対応しつつ、テクノロジー活用、産業集積等によるイノベーション、経済・交流機能を磨き上げ、本市・東北の発展を目指す。

○水害時夜間避難・避難所備品

○障害者スポーツに対する支援

○今後のいずみ墓園整備

渡辺 博 議員

○コロナ禍の長期休校で児童生徒の学習環境の差による学びの格差を懸念。解決に標準学力検査を活用すべき。

○市民の交通安全確保のため、ビッグデータを活用した取り組みをさらに広げるべき。

○自転車の安全利用に関する条例の効果を感じない。啓発強化とヘルメット義務化検討を。

○本市にある多くの文化財を活用し、仙台の魅力創出を

竹中 栄雄 議員

○本市における音楽舞台芸術の現状についての所見を伺う。

答 コロナ禍の厳しい状況に置かれており、多様な支援により文化芸術の再興に努めていく。

○震災から10年を迎える沿岸部の創造的復興について伺う。

答 移転跡地活用事業者等と協力し、地域特性を生かした新たな魅力の場を創出していく。

公明 党

○舞台関係者へのさらなる支援

○深沼海水浴場の早期再開を

佐藤 幸雄 議員

○おとな救急電話相談#7119がよりやすくなるよう、県共に改善を図るべき。

答 相談員の増員等を行ってきたが、回線の増強も選択肢として、共同主体の県と課題を共有し改善に努めていく。

○市有財産の利活用により、財政悪化への対策を推進すべき

○文化施設等の大規模改修の手法として、プロポーザル方式を検討・推進すべき

鎌田 城行 議員

○キッチンカーの機動力を生かし、災害時に被災者へ温かな食事を提供するための支援協定を締結してはどうか。

○車両数や稼働場所、食事の種類等を整理・検討する。

○子ども医療費助成の対象年齢を18歳まで引き上げるべき。

○市独自に拡充を図っているが、年齢基準引き上げを

市民と未来のために

伊藤 ゆうた 議員

○学校トイレを清潔に保つことは感染症予防につながる。早急に設備の修理や尿石除去剤の注入を行うべき。

答 換気扇の故障など不具合が発生した際には学校からの依頼を受けて修繕をしている。臭いに関しては尿石除去剤を使った清掃等も実施している。今後も学校からの要望などに応じて、できるだけ早期に修繕できるよう努めたい。

蒼雲 の会

○高齢者の運動機能や認知機能低下への予防策を伺う。

安孫子 雅浩 議員

○新型コロナウイルス対策強化のため保健師増員、保健所体制確立を

○新型コロナウイルスによる労働者解雇・雇止めへの対応策を

○次期仙台市基本計画に、大都市への転出超過問題を踏まえ、新たな創業支援策や若者の定住を目指す施策を明示すべき

○種苗法改正は農業者に悪影響。ゲノム編集技術による新品種登録が可能にならないよう、国に働きかけを。

蒼雲 の会

○新型コロナウイルス対策強化のため保健師増員、保健所体制確立を

○新型コロナウイルスによる労働者解雇・雇止めへの対応策を

○次期仙台市基本計画に、大都市への転出超過問題を踏まえ、新たな創業支援策や若者の定住を目指す施策を明示すべき

○種苗法改正は農業者に悪影響。ゲノム編集技術による新品種登録が可能にならないよう、国に働きかけを。

蒼雲 の会

○新型コロナウイルス対策強化のため保健師増員、保健所体制確立を

○新型コロナウイルスによる労働者解雇・雇止めへの対応策を

○次期仙台市基本計画に、大都市への転出超過問題を踏まえ、新たな創業支援策や若者の定住を目指す施策を明示すべき

○種苗法改正は農業者に悪影響。ゲノム編集技術による新品種登録が可能にならないよう、国に働きかけを。

蒼雲 の会

○新型コロナウイルス対策強化のため保健師増員、保健所体制確立を

○新型コロナウイルスによる労働者解雇・雇止めへの対応策を

○次期仙台市基本計画に、大都市への転出超過問題を踏まえ、新たな創業支援策や若者の定住を目指す施策を明示すべき

○種苗法改正は農業者に悪影響。ゲノム編集技術による新品種登録が可能にならないよう、国に働きかけを。

交通政策調査特別委員会

委員長 佐藤 和子

副委員長 佐藤 和子

本委員会は、少子高齢化社会に対応した利便性の高い公共交通体系による、持続可能なまちづくりの実現に向けた交通政策を推進することを目的に設置され、6回にわたり委員会を開催しました。交通政策は、市民生活の基盤であり、利用者の需要や利用目的の変化、技術の発達といった変化を適時、的確に捉えながら、施策に反映させ、維持していくことが求められます。当局には、新交通プランおよび地域公共交通計画の策定に当たり、市民や民間事業者との協議の機会を捉え、地域交通の確保や持続可能な交通体系の構築に向けて、着実に歩みを進めるとともに、できる限り速やかな交通体系の確立にも尽力することを求めます。

地域経済活性化調査特別委員会

委員長 高見 のり子

副委員長 菅原 正和

本委員会は、地場産業・中小企業の活性化や、起業拡大などによる地域経済政策の推進および雇用促進と、中心部のにぎわい創出や地域資源の活用などを通じた交流人口の拡大による経済の活性化を図ることを目的に設置され、「新たな仙台の顔づくりについて」をテーマに、6回にわたり委員会を開催しました。当局には、都心再構築等の推進に当たり、市民協働推進の立場からも、民間、市民との有機的な連携の下、仙台らしい顔づくりを目指すとともに、本市にも計り知れない影響をもたらした新型コロナウイルスに係る喫緊の施策に取り組む中で、その先の新たな仙台の顔づくりに意識しながら、実効性ある取り組みを進めることを求めます。

防災・減災推進調査特別委員会

委員長 ひぐち のりこ

副委員長 沼沢 しんや

本委員会は、東日本大震災の記憶を風化させない取り組みの推進と、多様な市民が主体となった地域防災力の向上および災害に強い防災環境都市の実現を目的として設置され、「災害の多様化に対応する防災・減災対策について」をテーマに、6回にわたり委員会を開催しました。豪雨災害の頻発化・激甚化を受け、各

子育て環境充実調査特別委員会

委員長 小田島 久美子

副委員長 石川 建治

本委員会は、次代の社会を担う子どもたちが健やかに育つことのできるよう、子育て環境の充実を図るとともに、いじめ防止に向けた社会全体の意識の醸成の取り組みの推進を目的として設置され、「子育てしやすい環境の整備と地域の子育て支援力の充実」をテーマに、6回にわたり委員会を開催しました。切眼目の

スポーツ振興調査特別委員会

委員長 橋本 啓一

副委員長 すげの 直子

本委員会は、スポーツを通じた地域活力の創出および市民一人一人の健康増進や生きがいづくりに向けて、スポーツ資源を活用した取り組みの推進を目的として設置され、「地域活性化に向けたスポーツ施策の充実」をテーマに、5回にわたり委員会を開催しました。スポーツというものは、地域を、人々を元気にする大きな

市民と未来のために

○リハビリ専門職の派遣など身近な場所で継続して取り組める環境整備等を審議会でも議論しており、その意見を踏まえ予防の取り組みを進める。

○孤軍奮闘する地域包括支援センターへの支援の充実を。

○今後も現場の声を聞き、継続して衛生用品支給や職員の増員等、支援の充実に努める。

市民と未来のために

○リハビリ専門職の派遣など身近な場所で継続して取り組める環境整備等を審議会でも議論しており、その意見を踏まえ予防の取り組みを進める。

○孤軍奮闘する地域包括支援センターへの支援の充実を。

○今後も現場の声を聞き、継続して衛生用品支給や職員の増員等、支援の充実に努める。

市民と未来のために

○リハビリ専門職の派遣など身近な場所で継続して取り組める環境整備等を審議会でも議論しており、その意見を踏まえ予防の取り組みを進める。

○孤軍奮闘する地域包括支援センターへの支援の充実を。

○今後も現場の声を聞き、継続して衛生用品支給や職員の増員等、支援の充実に努める。

市民と未来のために

○リハビリ専門職の派遣など身近な場所で継続して取り組める環境整備等を審議会でも議論しており、その意見を踏まえ予防の取り組みを進める。

○孤軍奮闘する地域包括支援センターへの支援の充実を。

○今後も現場の声を聞き、継続して衛生用品支給や職員の増員等、支援の充実に努める。

調査特別委員会 委員長報告

令和元年10月23日に設置された調査特別委員会の1年間の活動概要が、9月4日の本会議において各調査特別委員長から報告されました。

用語解説

本文中に紫文字で表記した用語を解説しています。

●UPZ（注1）（3面2段）

Urgent Protective action planning Zoneの略で、原子力発電所からおおむね半径30キロメートル圏（半径5キロメートル圏を除く）の区域。原子力発電所で事故が発生し緊急事態となった場合に、放射性物質が放出される前の段階から屋内退避などの防護措置を行う。

●火育（注2）（3面6段）

ライフスタイルの変化に伴い、火を扱うことがない子どもが増えている中、火に親しみ、火の持つ力や怖さ、正しい使い方を学ぶ体験学習を通じて、豊かな心を育み、災害などにも役立つ生きる力を高めること。

●メガソーラー（注3）（4面1段）

一般に出力が1MW以上の太陽光発電施設のこと。再生可能エネルギーの固定価格買取制度の開始以降、全国で建設が増加した。森林伐採等による環境への影響や土砂災害の誘発などの課題が指摘されている。

●DX（注4）（4面2段）

Digital Transformationの略。英語圏ではTransを省略する際に「X」と表記することが多いため、「DX」と表記する。経済産業省の定義では、企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを革新するとともに、業務そのものや組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

●SLA（注5）（7面1段）

Service Level Agreementの略。サービス品質保証とも呼ばれ、サー

決算等審査 特別委員会

委員長 渡 辺 敬 信
委員 長 跡 部 薫
副委員長

本委員会は、議選出の監査委員を除く全議員で構成され、委員は所属会派の議員数に応じた持ち時間内で、分科会および全体会において一問一答形式で質疑を行います。

委員会は、9月18日から8日間開催され、延べ97人の委員が約45時間にわたり審査を行いました。

主な質疑と答弁の要旨等を会派ごとに掲載します。

自由民主党

猪又 隆広 委員

○民間との相互人事交流で本市の魅力の創出につなげるべき

○浸水エリアにおける指定避難所のキャパシティの適正化

○がん検診の受診率向上

○個人での地域猫活動へのさらなる支援と町内会との連携

田村 勝 委員

○田子排水機場における全ての浸水対策の完了時期は

○12月末には二重の冠水対策を含む建屋内、来年3月末には屋外の工事を完了する予定

○高砂・白鳥地区の和田新田堀および周辺環境の整備

内藤 良介 委員

○待機児童の解消について

○保育所等におけるきょうだい別園の改善と待機児童の解消

○次期仙台市基本計画内での主要施設の位置づけ

○宮城県美術館の施設の今後

○市民協働推進および市民活動サポートセンターについて

○区民まつりについて

松本 由男 委員

高橋 卓誠 委員

○本市有数の歴史・文化の拠点である北山五山の活用を

○歴史的・文化的な名所として魅力を知ってもらえるよう、発信方法や支援を検討したい。

○体験プログラム創出事業

○観光戦略の見直しをすべき

佐々木 心 委員

原動機付自転車の図柄入

○導入に向けプロスポーツの活用を含め検討を進めている

○広報課フェイスブックのフォロワー数増加の取り組み

○不妊治療の課題認識

○待機児童の解消について

菅原 正和 委員

自転車通学におけるヘルメット着用を必要とする

○自転車利用者の意識が高まるよう啓発等に取り組み

○学校統廃合による通学の問題

○学校での冬の新型コロナ対策と陽性者発生時の学校名公表に伴う児童の心のケア

千葉 修平 委員

八木山中学校 校舎の改修後、体育館が改修される状況への対応は

○改修履歴等を踏まえ整備の方向性を検討する。なお、現在は校舎と同時に改修している

○拉致問題解決へ一層の啓発を

村岡 貴子 委員

子供を取り巻く環境を整えるスクールソーシャルワーカーの拡充と配置の工夫を求める

○消防団の機械器具置き場は、単独で、保全年数にとらわれず土砂災害警戒区域・危険箇所外へ早期に整備を

○学校施設の避難所としての役割も考慮し、校舎への断熱材設置や体育館へのエアコン設置を進めるべき

貞宗 けんじ 委員

近年深刻化する子どもたちのネットいじめに関する本市の対策の在り方を伺う

○ネット環境の変化に的確に対応した指導とともに、情報モラルの一層の向上を図る

○市政コールセンター設置に当たり設定するSLAの項目

郷古 正太郎 委員

都市公園のトイレの老朽化が進んでいる。早急に改修計画を策定すべき

○既存市営住宅団地内にバリアフリー化された住棟を新築し、高齢になっても安心して住める環境を

○起業家育成・支援について

細野 たかし 委員

杜の都の自転車プランのモデル事業の実績と自転車事故削減に向けた今後の取り組み

○防災教育におけるマイ・タイムラインの積極的活用

○教員の業務負担軽減に寄与する校務支援システムの充実と教科指導支援の継続

鈴木 すみえ 委員

○時間外勤務削減の取り組み

○人事評価の公平性と課題

○男性職員の育児休業取得

○公用車事故の再発防止

○改正民法施行後の債権管理と未収金への対応

○感染症対策と医師会・医療機関との連携

沼沢 しんや 委員

○コロナ禍における水道事業および下水道事業の課題

○ガス事業民営化に向けた企業価値向上の取り組み

岡部 恒司 委員

太陽光発電事業を条例により規制し、市民生活の安全・安心を第一に確保すべき

○民間団体同士の災害時応援協定に自治体として支援を

○新型コロナウイルス感染症の恐れがある中、大量のごみ収集業務を完遂した作業員に感謝を

庄司 俊亮 委員

七北田公園に泉区民ふるさとまつり用の常設ステージを

○検討の組上に載せるよう、担当部署に伝えていく

○地元産の木材で建てられた泉岳自然ふれあい館への反響

○ふれあい館のイノシシ対策

○大倉ふるさとセンターの運営



令和元年8月に開催された第39回泉区民ふるさとまつりの様子

令和元年東日本台風の農地・農業用施設の被害状況と復旧未完了箇所の機能強化

○被害件数は433件、被害額は約13億円。復旧に当たり、国が基本となる現況対策だけでなく、災害に備えて対策を施す

○地元要望のある農業用水路

西澤 啓文 委員

パシフィック調査を踏まえた今後の本市が目指す公共交通体系の在り方を伺う

○多様なニーズに対応するため、鉄道にバスが結節する交通体系の充実や、バスと地下鉄の連携

野田 謙 委員

令和元年東日本台風の農地・農業用施設の被害状況と復旧未完了箇所の機能強化

○被害件数は433件、被害額は約13億円。復旧に当たり、国が基本となる現況対策だけでなく、災害に備えて対策を施す

○地元要望のある農業用水路

西澤 啓文 委員

パシフィック調査を踏まえた今後の本市が目指す公共交通体系の在り方を伺う

○多様なニーズに対応するため、鉄道にバスが結節する交通体系の充実や、バスと地下鉄の連携

野田 謙 委員

令和元年東日本台風の農地・農業用施設の被害状況と復旧未完了箇所の機能強化

○被害件数は433件、被害額は約13億円。復旧に当たり、国が基本となる現況対策だけでなく、災害に備えて対策を施す

○地元要望のある農業用水路

西澤 啓文 委員

パシフィック調査を踏まえた今後の本市が目指す公共交通体系の在り方を伺う

○多様なニーズに対応するため、鉄道にバスが結節する交通体系の充実や、バスと地下鉄の連携

野田 謙 委員

令和元年東日本台風の農地・農業用施設の被害状況と復旧未完了箇所の機能強化

○被害件数は433件、被害額は約13億円。復旧に当たり、国が基本となる現況対策だけでなく、災害に備えて対策を施す

○地元要望のある農業用水路

西澤 啓文 委員

パシフィック調査を踏まえた今後の本市が目指す公共交通体系の在り方を伺う

○多様なニーズに対応するため、鉄道にバスが結節する交通体系の充実や、バスと地下鉄の連携

野田 謙 委員

令和元年東日本台風の農地・農業用施設の被害状況と復旧未完了箇所の機能強化

○被害件数は433件、被害額は約13億円。復旧に当たり、国が基本となる現況対策だけでなく、災害に備えて対策を施す

○地元要望のある農業用水路

西澤 啓文 委員

社会民主党

ひぐち のりこ 委員

○DV等被害者の住民票の写し等を加害者へ交付する事故を防ぐ支援措置の対応を伺う

○交付の都度、責任者が確認するなど対策を徹底している

○マイナポータル制度の本市負担額は著しく安い。来る契約満了時には、適正価格を設定し、プロポーサル方式で公正公開

村上 かずひこ 委員

東北労災病院・仙台赤十字病院が県の決定で市外に統合移転する場合、周産期医療や救急搬送の受け入れ先・病床の多くが失われる。市民のため、断固阻止すべき

○仙台サンプラザのホテル・ホテル賃貸料の年約2400万円は著しく安い。来る契約満了時には、適正価格を設定し、プロポーサル方式で公正公開

加藤 けんいち 委員

防火カメラ設置補助事業

○通学路への防火カメラ設置

○コミュニティ・センターと市民センターの配置基準見直し

○「運動部活動の方針」

○教職員給与と特措法改正による変形労働時間制の導入

小野寺 健 委員

ベガルタ仙台の債務超過問題で一番大切なことは、会社側がサポーターの心をつかみ続けること。現経営陣にはこの点が欠如しているのではないかと、経営陣とサポーターの対話が一つの焦点だ

○法人市民税等は、基金に積み立てず、新型コロナで苦しむ事業所や市民に還元せよ

市役所本庁舎の建て替え

高村 直也 委員

脱炭素に向け、模範となる環境配慮技術を導入すべき

屋上と南面での太陽光発電

公明党

分科会の主な質疑項目

○公文書館に収蔵される公文書のデジタル保存はどのように進めるのか

○まずは公文書館開館まで紙媒体の歴史的公文書の収集・選別を進め、その後のデジタル化の進め方を検討したい

○分かりやすい広報の推進のため、検証とさらなる工夫を

○財源確保のため経済活性化に資する市有財産活用推進を

健康福祉局

敬老乗車証制度はタクシーなどへの拡充も検討し推進を

○ケアマネジャーの研修強化

○医療的ケア障がい児者支援

市民局

マイナンバーカード普及促進のため動画活用や市独自策を

○遺族向け「おくやみコーナー」窓口と相談専用コールセンター設置、ガイドブック作成

○特殊詐欺被害対策の広報拡充

○有書鳥獣対策として、クマやイノシシの生息数把握と捕獲した鳥獣等を利用した動物園での「屠体給餌」の検討を

【仙台市におけるクマ・イノシシの捕獲頭数】

クマの捕獲頭数

イノシシの捕獲頭数

増加傾向にあるクマ・イノシシの捕獲頭数（平成27年度～令和元年度）

簡易ヘッドや寝食分離等は、避難状況の推移を見ながら導入の検討を進める

○食物アレルギー児への対応

○祖父母手帳の活用と子育ての家の家事・育児への参加促進

いのまた 由美 委員

町内会の負担軽減と活動の維持・運営のサポート強化

○市民協働施策の充実

○不登校児童生徒の別室対応

○夜間中学設置の検討状況

○義務教育後の学び直し

○インクルーシブな社会に寄与する障害児・者の生涯学習

辻 隆一 委員

地区集会所建設等補助制度と地域活動の拠点の在り方

○アーチルの増設等について

○ガス事業民営化における譲渡価格の考えと職員の派遣期間

○震災10年目を迎えた復興計画、復興基金等の諸課題

小山 勇朗 委員

料金値上げが懸念されるガス事業民営化を急ぐ理由とサービス向上策

○観光地のナラ枯れの事前対策

市民に身近な市役所の実現を

○コミュニティ・センターの適切な維持管理に計画の保全を

○ベガルタ仙台支援としてスタジアムパーク構想を提案

○不登校対策・心のケアには専門家のスキル向上策が必要

○市立病院10階の精神科病床は稼働率が低く、経営上問題

○西公園のこけし塔の修繕を

ベガルタ仙台経営陣に、抗議の横断幕を掲げるサポーター



ベガルタ仙台経営陣に、抗議の横断幕を掲げるサポーター

教育局

不登校児童生徒の多様な学び支援のため、支援団体と連携しマップ配布等の情報提供を

○児童の杜等の情報共有でマップ作成にも協力中。配布も含め、連携して支援を進めたい

○震災遺構荒浜小・石巻市の旧大川小を活用した防災教育

○心のバリアフリー推進事業に、保護者や地域の方々も参加し共に学ぶ場を設けるべき

○発達障がいのある児童生徒のライフステージに応じた縦の支援に加え、教育・医療・福祉等の横の連携支援強化を

環境局

ペットの火葬場の運営改善

○リサイクルの機運向上策

文化観光局

震災から10年、音楽復興イベント開催とオンライン配信を

○中心部震災メモリアル拠点と音楽ホールの一体化整備

都市整備局・建設局

市営住宅の指定管理者が負うべき防犯・防火の管理責任

○南部道路高架下市道の開放

水道局

本市ポトル水の容器材質改良

マイボトル提供やサーバー

で水道水の利用機会を増やせ

○イクスカの利用・購入促進策

○バス・地下鉄のサービス向上

全体会の主な質疑項目

○自転車条例施行後も全市民の理解と協力の徹底に努めよ

○自転車利用者に限らず全市民への周知等を継続したい

○荒浜小のバリアフリー化

令和元年度決算の課題

○網膜色素変性症患者のため暗所視支援眼鏡の助成を

○国民健康保険料の収入確保

○コロナ禍での自殺総合対策

○小規模保育事業の維持支援策

○NET119の利用対象拡大

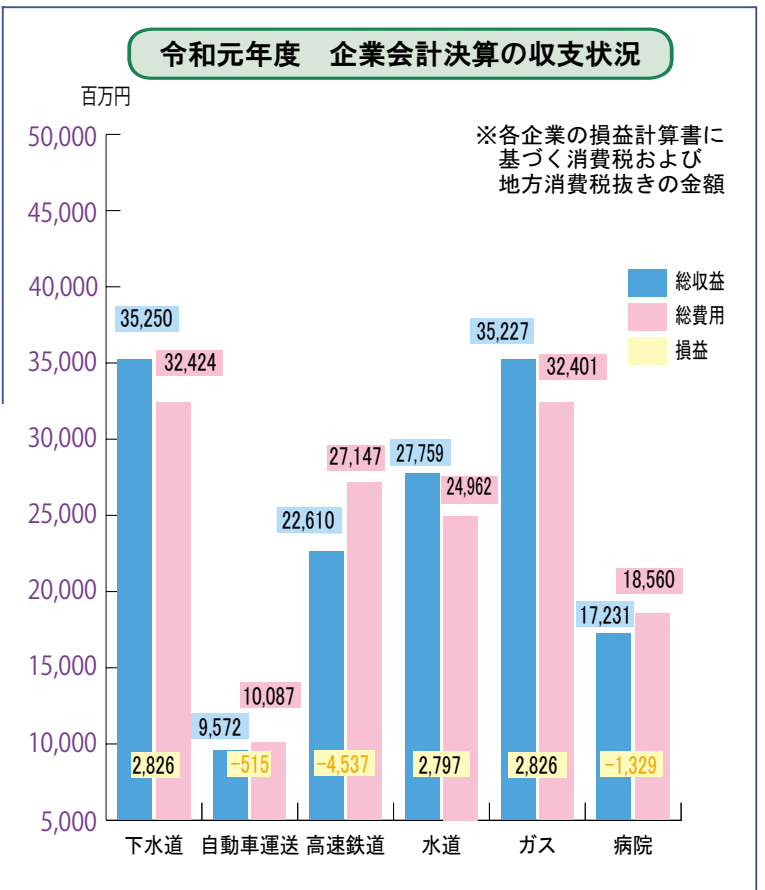
○小中学校のトイレ洋式化

○有害鳥獣対策について

宮町・上杉地区の交通安全策

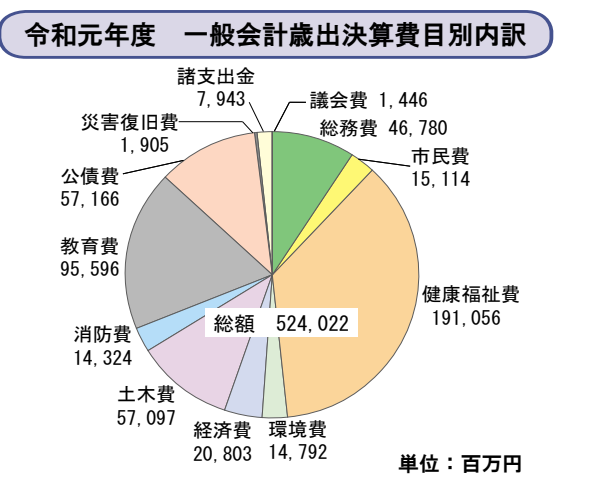


公用車にも特殊詐欺対策のステッカーを（写真は市の委託事業者のごみ収集車）



令和元年度 一般会計決算の収支状況

項目	令和元年度
予算現額	581,396
歳入決算額	A 531,224
歳出決算額	B 524,022
歳入歳出差引額	C=A-B 7,202
翌年度へ繰り越すべき財源	D 3,469
実質収支額	E=C-D 3,733



令和元年度 特別会計決算の収支状況

会計名	歳入	歳出	差引額
都市改造事業	7,018	4,973	2,045
国民健康保険事業	90,063	89,769	294
中央卸売市場事業	2,808	2,807	1
公共用地先行取得事業	1,179	1,179	0
駐車場事業	227	227	0
公債管理	126,620	126,620	0
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	149	58	91
新墓園事業	1,060	972	88
介護保険事業	77,348	75,498	1,850
後期高齢者医療事業	11,792	11,724	68
合計	318,264	313,827	4,437

新委員の紹介

令和2年10月7日現在
(◎委員長 ○副委員長)

総務財政委員会

所管 危機管理室
総務局
まちづくり政策局
財政局
その他

◎跡部 利裕
○小野寺 博
斎藤 範夫
村上 かずひこ
ひぐち のりこ
鈴木 広康
小野寺 健康
すげの 直子
内藤 良介
山下 純

市民教育委員会

所管 市民局
消防局
教育委員会

◎渡辺 敬信
○菅原 正和
石川 建治
佐藤 正昭
嶋中 貴志
安孫子 雅浩
小田島 久美子
橋本 啓一
ふるくぼ 和子
猪又 隆広
郷古 正太郎

健康福祉委員会

所管 健康福祉局
子供未来局
市立病院

◎佐々木 真由美
○佐々木 勇治
鈴木 わか子
佐藤 和彦
加藤 幸雄
佐藤 貴子
村岡 すみえ
鈴木 修平
千葉 由美
いのまた あかり
庄司

経済環境委員会

所管 環境局
経済局
文化観光局
農業委員会
ガス局

◎菊地 崇良
○高橋 卓誠
小山 勇朗
西澤 啓文
高見 のり子
佐藤 和子
野田 謙
加藤 けんいち
竹中 栄雄
細野 たかし
高村 直也

都市整備建設委員会

所管 都市整備局
建設局
水道局
交通局

◎松本 由男
○沼沢 しんや
嵯峨 サダ子
庄司 俊充
辻 隆一
赤間 次彦
岡部 恒司
鎌田 城行
田村 勝
伊藤 ゆうた
貞宗 けんじ

防災・減災推進調査特別委員会

東日本大震災の記憶を風化させない取り組みの推進と、多様な市民が主体となった地域防災力の向上及び災害に強い防災環境都市の実現を目的とする。

◎すげの 直子
○小野寺 裕子
岡部 恒司
菅原 正和
嶋中 貴志
跡部 薫
鈴木 すみえ
佐々木 心
いのまた 由美
田村 勝
山下 純

子育て環境充実調査特別委員会

次代の社会を担う子どもたちが健やかに育つことのできるよう、子育て環境の充実を図るとともに、いじめ防止に向けた社会全体の意識の醸成の取り組みの推進を目的とする。

◎佐藤 和子
○沼沢 しんや
渡辺 隆博
辻 勇治
鈴木 由男
松本 治
鎌田 城行
加藤 けんいち
村岡 貴子
郷古 正太郎
庄司 あかり

文化芸術・スポーツ振興調査特別委員会

文化芸術及びスポーツを通じた地域活力の創出や市民一人一人の生きがいづくりなどに向けて、文化芸術及びスポーツ資源を活用した取り組みの推進を図ることを目的とする。

◎斎藤 範夫
○ひぐち のりこ
嵯峨 サダ子
村上 かずひこ
佐藤 正昭
加藤 和彦
ふるくぼ 和子
小野寺 健
竹中 栄雄
内藤 良介
貞宗 けんじ

歴史まちづくり調査特別委員会

特色ある歴史資産を活用した戦略的まちづくりに取り組み、都市の魅力と個性を発揮していくために必要な諸施策の推進を図ることを目的とする。

◎西澤 啓文
○高見 のり子
佐藤 わか子
石川 建治
鈴木 広康
橋本 一
菊地 崇良
佐藤 幸雄
千葉 修平
渡辺 敬信
高橋 卓誠

人生100年時代調査特別委員会

少子高齢化社会の到来に際し、市民が人生100年時代を見据えた多様な人生設計のもと、健康で充実した生活を送ることができる都市の実現を目的とする。

◎庄司 俊充
○安孫子 雅浩
小山 勇朗
赤間 次彦
野田 謙
小田島 久美子
佐々木 真由美
細野 たかし
高村 直也
猪又 隆広
伊藤 ゆうた
貞宗 けんじ

議会運営委員会

所管 議会運営に関する事項

◎加藤 和彦
○佐藤 和子
高見 のり子
ひぐち のりこ
菊地 崇良
佐藤 幸雄
加藤 けんいち
村岡 貴子
佐々木 心
沼沢 しんや
貞宗 けんじ

広報委員会

所管 議会広報に関する事項

◎菅原 正和
○加藤 けんいち
千葉 修平
竹中 栄雄
山下 純
高村 直也
いのまた 由美
小野寺 健

常任委員会 審議の概要

令和2年9月17日開催

委員会に付託された議案番号を各常任委員会名の隣にまとめて記載しています。

また、各議案名は、2面の会派別議案等賛否一覧表をご覧ください。

健康福祉委員会
付託された5議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

○新型コロナウイルスに係る国保料減免対象者への丁寧な案内について

○福祉避難所の機能強化の概要

○地域子育て支援センターの目的

総務財政委員会

(第96・102・103・113号)

付託された4議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

○コロナ禍に対応するための一般財源確保状況および今後の取り組み

○イベントや行事等を行う方々に対する救済としての税制上の対応

○原子力発電所事故に係る賠償請求

経済環境委員会
付託された3議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

○感染防止対策奨励金について

○感染拡大防止協力事業者特別支援金とさらなる対策について

○地域産品等販路拡大支援事業

市民教育委員会

(第96・107・110・112・114・116号)

付託された7議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

○県産牛肉学校給食提供支援事業

○タブレット端末導入を含むICTを活用した学びのための検討内容

○生出小学校赤石分校について

○仮設エアコン移設の予算確保

都市整備建設委員会

(第96・99・100・106・108・109・117号)

付託された7議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

○自動車運送事業会計について

○蒲生北部地区土地区画整理事業の清算金と地権者への丁寧な対応

○青葉山公園(仮称)公園センター整備の考え方について

意見書

第4号 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対する地方税財源の確保と感染症対策への適切な財政措置を求める件

新型コロナウイルスの影響で、地方税等の著しい減少が確実視される中、感染症対策等の膨大な財政需要への対応により、極めて厳しい財政状況に陥る恐れがあるため、今後の持続的な都市運営に向け、地方交付税の適切な確保や、地方税の減収全額への国費負担、地方税制の根幹に影響する見直しの不実施、感染症対策の所要額全額への迅速な財政措置等を確実に実現するよう、強く求めるもの

第5号 防災・減災、国土強靱化対策の継続・拡充を求める件

近年頻発化・激甚化する自然災害に備え、国民の生命・財産を守る防災・減災、国土強靱化は、一層その重要性を増していることから、今後起こりうる大規模災害の被害を最小限に抑え、迅速な復旧復興へとつながるよう、国の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の延長・拡充、災害対応に係る予算の確保・補助対象の拡大等の措置を講じるよう、強く求めるもの

可決した意見書は、国会および関係行政庁に提出しました。